

次世代  
エコライト

# LED投光器発売

## 看板の視認性向上

### 虫寄せ付けず低コスト

LED（発光ダイオード）照明を販売する次世代エコライト（本社名古屋緑区鳴海町有松裏200、河邊祐治社長、電話050・3360・6492）は、LEDの投光器を今月から発売する。一般の水銀灯に比べ消費電力量は約8分の1と低コストを実現。また照射角度を自由に設定することでスポット照明として優れた効果を発揮する。同社では店舗看板などの夜間照明用として広く提案していく考えだ。（今井康紀）



同社の提案するLEDの投光器



河邊祐治社長

従来の水なるまでに時間が必要銀灯は消費となる。また放出する電力量や放射紫外線により野外では熱量が多虫を寄せ付けやすいのが、明るく、ネックとなつてい

る。

同社が販売するLED投光器「YG-60」は、「YG-120」では、消費電力量が水銀灯の約8分の1とランニングコストに優れているほか、熱や紫外線の放出が少なく、水銀灯の欠点をカバーできるのが特徴。

が特徴。

また照射角度もオーダーに応じて、25度から120度まで調整でき、スポット照明として最適だ。電力の利用効率を示す力率は90%から99%で寿命は5万時間。使用するLEDチップは「YG-60」が60個、「YG-120」が120個。価格は前者が21万円、後者が33万6千円。既に同製品を導入している顧客からも、「店舗の看板が見やすく、虫が寄ってこない」と好評を得ており、積極的に市場を開拓していく。

## 婚礼需要開拓へ

キャッスル  
プラザ

「孔雀の間」改装  
キャッスルプラザの華やかな空間へと転（名古屋市中村区）は、換し、特に婚礼での需要を開拓する。投資額

は2千万円でオープン日は8月15日。同宴会場の改装は06年以來、5年ぶりとなる。孔雀の間は全室使用の場合の面積が454平方メートル（「鳳凰の間」578平方メートル）に次いで2番目の規模。2分割でも使用でき、婚礼用の着席で最大90人を収容できる。改装期間は8月9日、15日の



完成予想図  
き、婚礼用の着席で最大90人を収容できる。改装期間は8月9日、15日の